

学校だより 1月号

平成29年 1月10日
校長 山本 一臣

山手小学校ホームページ：「山手小学校ホームページ」で検索するとご覧いただけます。



めざす子ども像

- 心豊かな子ども
- 自ら学ぶ子ども
- 元気な子ども



3年生



4年生



5年生



6年生

平成29年のスタート

新年明けましておめでとうございます。旧年中は保護者・地域の皆様方にたくさんのご協力をいただき誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

冬休みが終わって、子どもたちの元気なあいさつと共に後期の後半がスタートしました。在校生の学校へ来る日があと53日。6年生は49日です。毎日を充実したものとしながら、年度の締めくくりに向けて取り組んでいきたいと思っています。上の写真は、昨年12月に行った人権集会の様子です。今年は、初めに器楽クラブの演奏から聞いていただきました。その後、各学年で人権に関する標語や出し物の発表を行いました。当日は本当にたくさんお越しいただきありがとうございました。子どもたちはそれまでに準備してきたことを、保護者・地域の皆様方の前で気持ちを込めて表現することができたと思います。

さて、後半のスタートにあたり子どもたちには、「一年の計は元旦にあり」ということわざにもある通り、目標を立てることの大切さについての話をしました。学校の方も、卒業式や学年のまとめに向けてこれから忙しい毎日が続きますが、毎日元気にがんばらせたいと思います。



1年生



2年生

栄誉をたたえます

長崎県 JA 書道コンクール 金賞
棋聖戦長崎県大会 優勝
2年 渡會 修平

長崎県読書感想文コンクール 優良賞
2年 林 怜央

長崎県まちづくりの絵コンクール 奨励賞
2年 永川紫都奈

食育カレンダー図面コンクール 佳作
2年 森 夢叶

佐世保球友杯新人大会 準優勝
山手ワイルドボアーズ

アクアカップ 第2位
山手小女子ミニバスケットボールクラブ

アクアカップ 第3位
明るい街づくりバスケットボール大会 第3位
山手男子ミニバスケットボールクラブ

松浦少年少女サッカー大会 第3位
山手小サッカークラブ



表彰の様子

10日（火）始業日、全校朝会
集団下校
11日（水）体重測定週間
12日（木）体育朝会
市図工作品展（～15日）



山手まつり



子どもたちが楽しみにしていた山手まつりです。今回も、子どもたちの生き生きした活動の様子を保護者・地域の方々に見ていただきました。一緒に楽しんでいただきありがとうございました。

1月 行事予定

13日（金）6年生薬物乱用防止教室
15日（日）家庭の日
16日（月）5年生幼稚園との交流（桜の聖母）
17日（火）児童集会
外国語活動（シガー先生）
19日（木）縦割り活動
食育の日
24日（火）給食集会、防犯教室
授業参観（低）
25日（水）祇園中学校入学説明会
26日（木）音楽朝会
授業参観（高）
31日（火）新1年生入学説明会

PTA

もちつき大会

年末に PTA 主催のもちつきを行いました。当日は晴天の中、220名の参加でした。ありがとうございました。



学校評価へのご協力ありがとうございました。

保護者・地域の皆様方には、お忙しい中に学校評価へご協力いただき誠にありがとうございました。全体的に90%ほどの高い評価でしたが、多くのご意見もいただきました。こうしたご意見等については有り難く受け止め、今後さらに学校をより良くするための参考とし改善できるところはすぐにでも取りかかっていきたいと考えています。詳しくは学校支援会議で報告する予定です。

寝る前に日記をつける習慣を

日記は、子どもの学力向上に直結します。そもそも、学力を付けるとは、「書く力」がつくということ。自分の考えを書く、調べてわかったことを書く、問題の答えを書くなど、学習の最終過程は「書く」ことです。様々な事象を具体的に数値や言語によって記号化し、抽象化する。それを脳の中で組み立て、分析をしていく。この作業が学習です。書く力を欠いた学力向上はありません。「全国学力・学習状況調査」でも、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのが得意な子どもは、学力が高い傾向にあることがわかっています。……。

日記は、「自覚的に生きる」ことを保証します。日記を書く作業を通して、自分の思いが明確になります。「こうありたい」「こうなりたい」という目標や願望や思いが、書くことで可視化され、意識化され、胸に刻まれる。だから、怠けたいという誘惑にも負けずに頑張れるようになるのです。

日記を書くのは、寝る前がいいでしょう。1日の終わりにその日を振り返りながら書くのです。日記を書く習慣がつくことは、自分のことをしっかり考える習慣がつくことを意味します。……。

子どもを賢く育てる「暮らし方」 陰山英男 立命館小学校副校長

学校でも、日記を宿題として出しているクラスや学年があると思います。上記のように日記のような文章を書くことは、思考力を高め学力の向上につながり、ひいては夢の実現にまで導くものなのです。特に思春期はさまざまな感情や思いが頭の中を渦巻きますので、日記を書くことで心の中を整理できるともいわれています。私はもう思春期ではありませんが、日誌から始めてみようと思います。